

■野口久光 映画ポスターデザイナーとして一世を風靡、その後は、ジャズ、ミュージカル評論家として活躍。

のぐちひさみつ

伊藤博文暗殺1909＝ 栃木県宇都宮市で、陸軍軍人野口武久の長男に生まれる。母和は松山藩家老血筋。

明治天皇没・1912＝ 3歳：

民本主義・・1916＝ 7歳：宇都宮市の尋常小学校に入学するが、

本格政党内閣1918＝ **9歳**：父の習志野騎兵学校赴任に伴い、千葉県船橋市に転居し、船橋尋常小学校に転校。
_学校や家庭では禁止されていたが、東京浅草の伯父の家に泊まりに行くと、映画館に連れて行ってくれたことから、映画に目覚めるも、

大暴落・・・1920＝11歳：父の北海道騎兵連隊赴任に伴い、旭川に移住、"北の学習院"と言われた旭川公立北鎮小学校に転校。

原敬首相暗殺1921＝12歳：

水平社結成・1922＝13歳：卒業し、北海道庁立旭川中学校に進む。父が前年に十勝に転出していたため、寄宿舎生活を体験。

護憲三派圧勝1924＝15歳：父の退役に伴い、一家とともに船橋に戻って、千葉県立千葉中学校に転校、工部美術学校を優秀な成績で卒業。画学塾を開くも苦難するうち推薦されて、**図画教師**となっていた堀江正章に出会って影響される一方、

円本時代始・1926＝17歳：_父が死去して、厳格な支配から脱したこともあり、

金融恐慌・・1927＝**18歳**：卒業すると、1年の浪人の後、

共産党事件・1928＝19歳：_東京美術学校工芸部図案科に合格。映画研究部に所属し、顧問の鑄金科教授高村豊周の学内変革求める考え方にも共鳴して、映画の世界にのめり込んで行く。

満州事変・・1931＝22歳：

_美術解剖学専門の西田正秋の監修得て、部員で実験映画の制作も試みるうち、その困難さも知って、ポスターに凝縮する図案家の道を選び、

国際連盟脱退1933＝24歳：_卒業制作で描いた「制服の処女」など7点が美校買い上げとなって、卒業。当時学生を中心に映画ファン憧れの的であった欧州映画の輸入配給会社{東和商事}の映画部・図案部に入社。

帝人疑獄事件1934＝25歳：「商船テナシチー」以降、***キネマ旬報ベストテンのトップから上位独占する配給作品のポスターを手掛け、題名・キャッチフレーズつけの天才**筈見恒夫の支えもあって、絶賛を浴びるようになるが、

二二六事件・1936＝**27歳**：

日中戦争始・1937＝28歳：

日米開戦・・1941＝32歳：

・・・・・1942＝33歳：

_戦局が進行して東和商事が解散したため、{中華電影}へ転出、上海へ渡る。上海では映画のポスターデザインの傍らジャズをはじめとする音楽評論、敗戦後共に収容所に収容されることとなる李香蘭(山口淑子)のリサイタル、「夜来香ラプソディ」の企画・構成も手掛ける。

敗戦・・・・1945＝**36歳**：

新憲法公布・1946＝37歳：_上海より引き揚げ、

東宝撮影所を経て、新東宝の映画プロデューサーとなり、6本の映画を世に送り出すも、対応しきれず、

独立回復・・1951＝42歳：_新たに発足した東和映画株式会社宣伝部に入社すると、「天井桟敷の人々」「第三の男」「禁じられた遊び」など、傑作欧州映画のポスターを次々と描き、

メーデー事件・1952＝43歳：_*「ホフマン物語」で**広告電通賞(ポスター部門)**となる一方、
_戦前のものに加え十誌前後になった映画雑誌の表紙や挿絵を描くなどするうち、

自衛隊発足・1954＝**45歳**：

55年体制始・1955＝46歳：この年設立された{堀江正章先生顕彰会}の評議員になっている。

インスタントメン・1958＝49歳：_盟友筈見恒夫の急逝に衝撃を受け、

安保闘争・・1960＝51歳：_*特にこの年日本公開の際描かれた「大人は判ってくれない」のポスターは監督のF・トリュフォーが絶賛、礼状を寄こし、感謝の意を伝えられ、来日したトリュフォーにポスターの原画を贈呈後は、

全国総合計画1962＝53歳：トリュフォーはオムニバス映画「二十歳の恋」の中の「アントワヌとコレット」の中の印象的な小道具として、このポスターを登場させ、生涯大切に事務所に飾っていた。

TV宇宙中継始1963＝**54歳**：

_戦前からジャズ、レビュー、ミュージカルなどで活躍していたこともあって、ポピュラー・レコード解説、ジャズ雑誌でのレコード批評、ミュージカル評論に軸足を移し、ポスター制作から離れて行く。

日中国交回復1972＝**63歳**：

石油ショック1973＝64歳：

成田衝突・・1978＝69歳：永年の文化活動により、_紫綬褒章、

・・・・・1981＝**72歳**：

中曽根内閣・1982＝73歳：

ディズニースト・1983＝74歳：勲四等旭日小綬章。

_日米ジャズ、ミュージカルの橋渡し役の貢献からニューオリンズ名誉市民、ルイジアナ州クローリー名誉市民にも選出され、

昭和天皇没・1989＝80歳：サイレント映画時代の名作「イントレランス」が60年ぶりに日本で再上映されることになった際、監修を担当、ニューヨークに飛んで憧れの女優リリアン・ギッシュとの感激の対面し、素描ポートレートを贈呈、

ドイツ統一・・1990＝**81歳**：

自社と連立・1994＝85歳：_没した。

フランス・パリのシネマテーク・フランセーズにも多くの野口作品が永久保存されている。

「グラフィックデザイナー 野口久光の世界」、インターネット、